

【国会等の移転に関する特別委員会】

(1) 審議概観

第140回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

2月19日、第139回国会閉会後の1月9日及び10日の2日間で行われた国会等の移転に関する実情調査のための委員派遣（福島県、栃木県）について、その報告を聴取した。

5月8日、国会等移転審議会の審議状況について政府委員から説明を聴いた後、国会等の移転に関する件について参考人帝京平成大学長八十島義之助君から意見を聴き、同参考人に対し質疑を行った。

ここでは、財政構造改革と首都機能移転の関係、新全国総合開発計画における東京圏のあり方、首都の位置に関する物理的、心理的距離についての見解、調査会報告が想定する60万都市と行政改革との整合性、国際空港を都心から概ね40分以内としている根拠、首都機能移転における多極分散型国土づくり、東京の過密解消、災害対策の意義如何、首都機能移転と少子化時代における人口政策等について質疑を行った。

また、国会等の移転に関する実情調査のため、2月25日に岐阜県及び4月7日に茨城県の視察を行ったが、その視察報告をそれぞれ聴取した。

6月4日、参考人作家堺屋太一君から意見を聴き、同参考人に対して質疑を行った。

ここでは、遷都或いは首都移転と言わない理由、分都についての見解と調査会報告でいう三権集中移転との関係、用地取得に関して憲法第29条と私権との関係、移転誘致合戦に伴う各県の出費についての見解、「慎重な検討を行うことを提起する」とされた閣議決定についての見解、首都機能移転に向けて歴史上の教訓を生かす努力如何、首都機能移転と遷都との関係、最大人口60万人の妥当性、首都機能の移転が将来的な日本の発展に及ぼす影響、首都の防衛、危機管理の方策等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成9年1月20日(月) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成9年2月19日(水) (第2回)

- 派遣委員から報告を聴いた。

○平成9年5月8日(木) (第3回)

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国会等移転審議会の審議状況について政府委員から説明を聴いた。
- 国会等の移転に関する件について参考人帝京平成大学長八十島義之助君から意見を聴いた後、同参考人に対し質疑を行った。

○平成9年6月4日(水) (第4回)

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 国会等の移転に関する件について参考人作家堺屋太一君から意見を聴いた後、同参考人に対し質疑を行った。

○平成9年6月17日(火) (第5回)

- 国会等の移転に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中に委員派遣を行うことを決定した。

○平成9年6月18日(水) (第6回)

- 特別委員長の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 理事の補欠選任を行った。